

ECALSを活用した部品情報管理
「高度部品情報管理・情報活用の実現に向けて」
- Forum Discussion -

株式会社村田製作所における 部品情報コンテンツ公開の現状と今後

株式会社村田製作所
情報システム統括部生販情報システム部
eビジネス推進担当 越田 修

部品情報コンテンツ公開の現状



- ECALSで情報公開

- カタログ品を対象とする
 - » 当社カタログサイトと同等データを全て掲載
カタログサイトの掲載品は推奨品が中心
 - » 改廃はカタログサイトと完全連動（年6回更新）
- その他の付加情報として
 - » 環境情報（RoHS対応有無を含む）
 - » カタログ品であるが非掲載になった品番データ

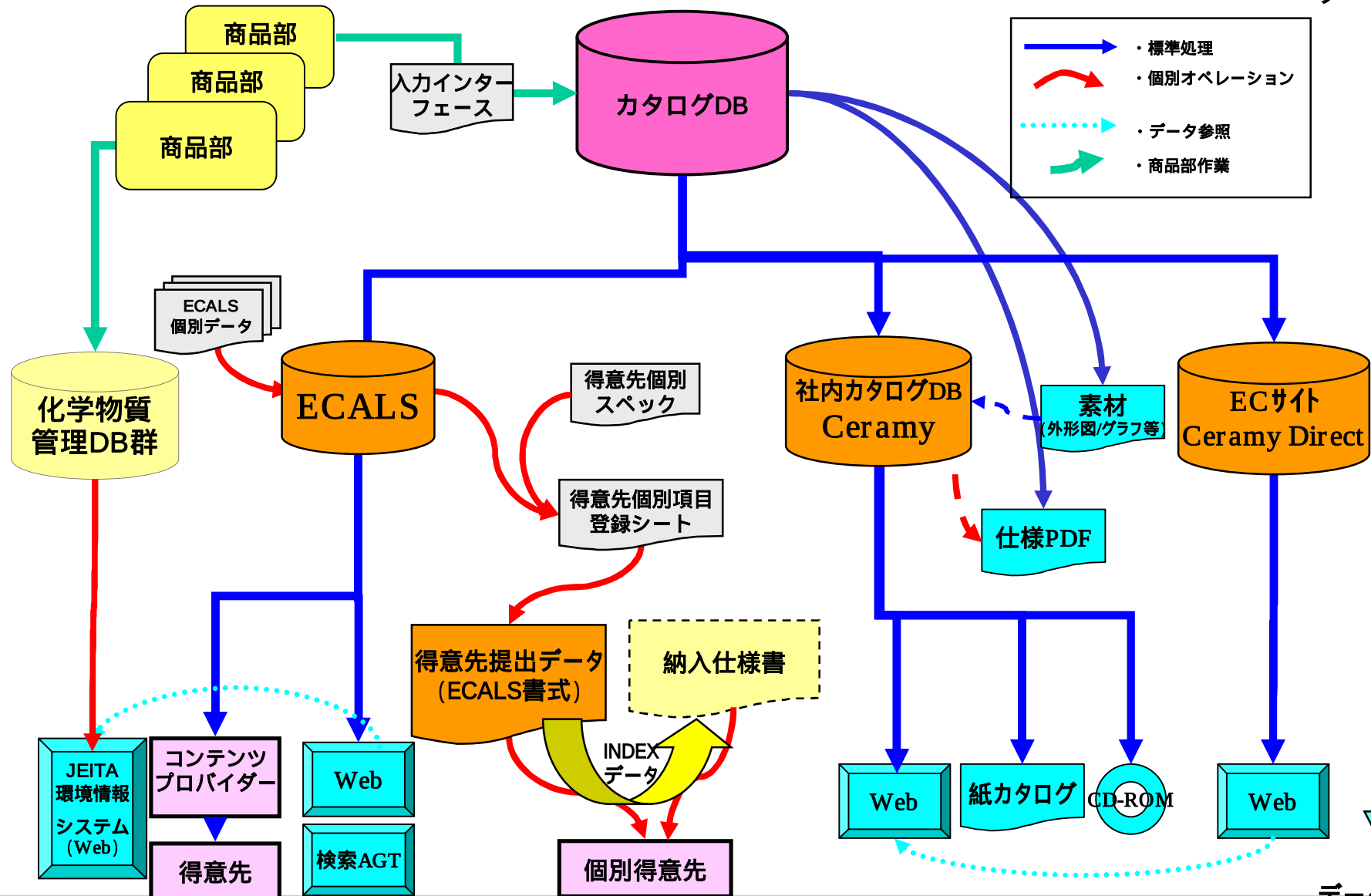
– お客様取引品番には個別対応

- 取引品番のデータ提供依頼へは
 - » ECALS辞書準拠での提供をお願いする
 - » その上でお客様固有フォーマットにも対応

部品情報コンテンツ公開の流れ

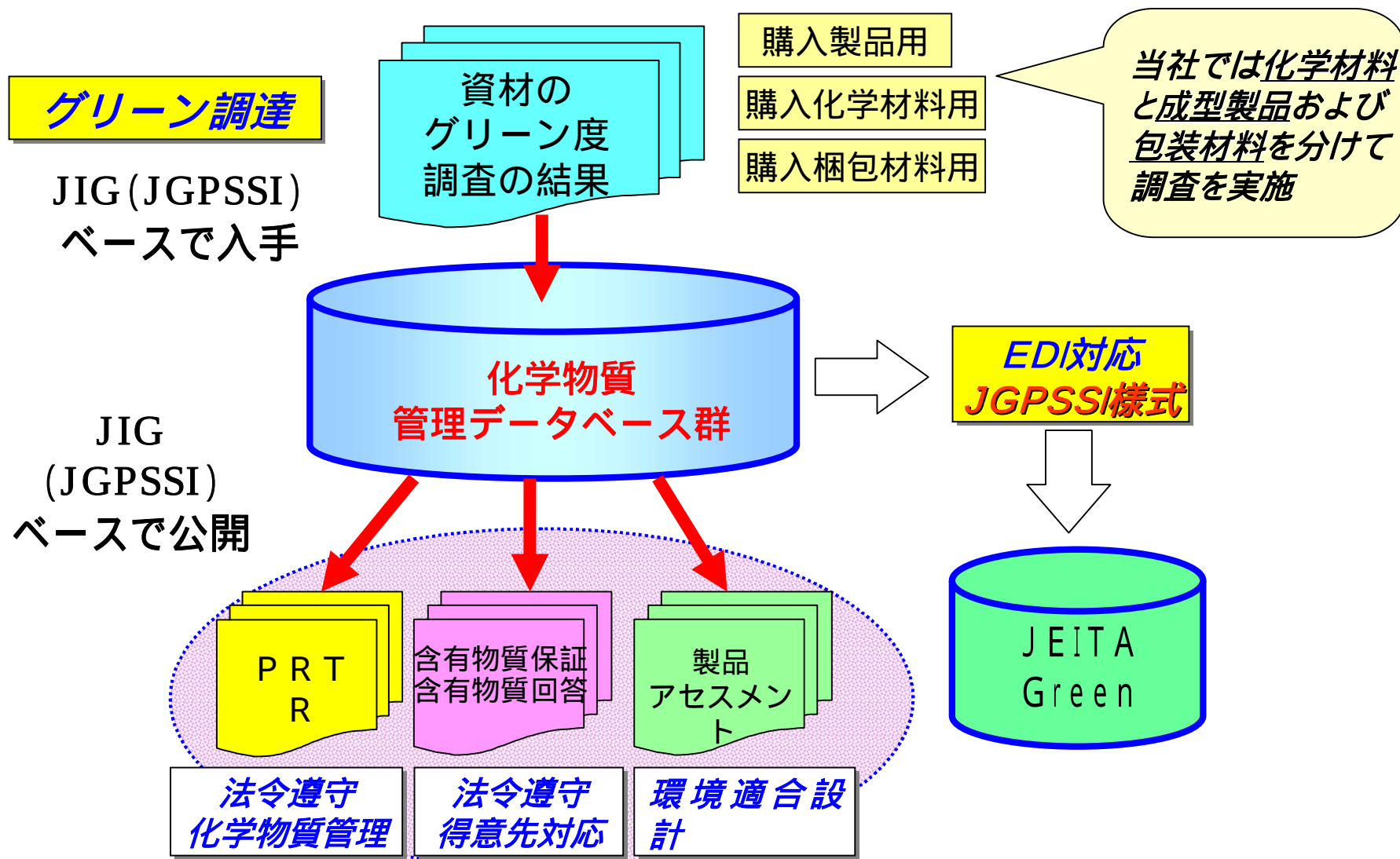


データ川上

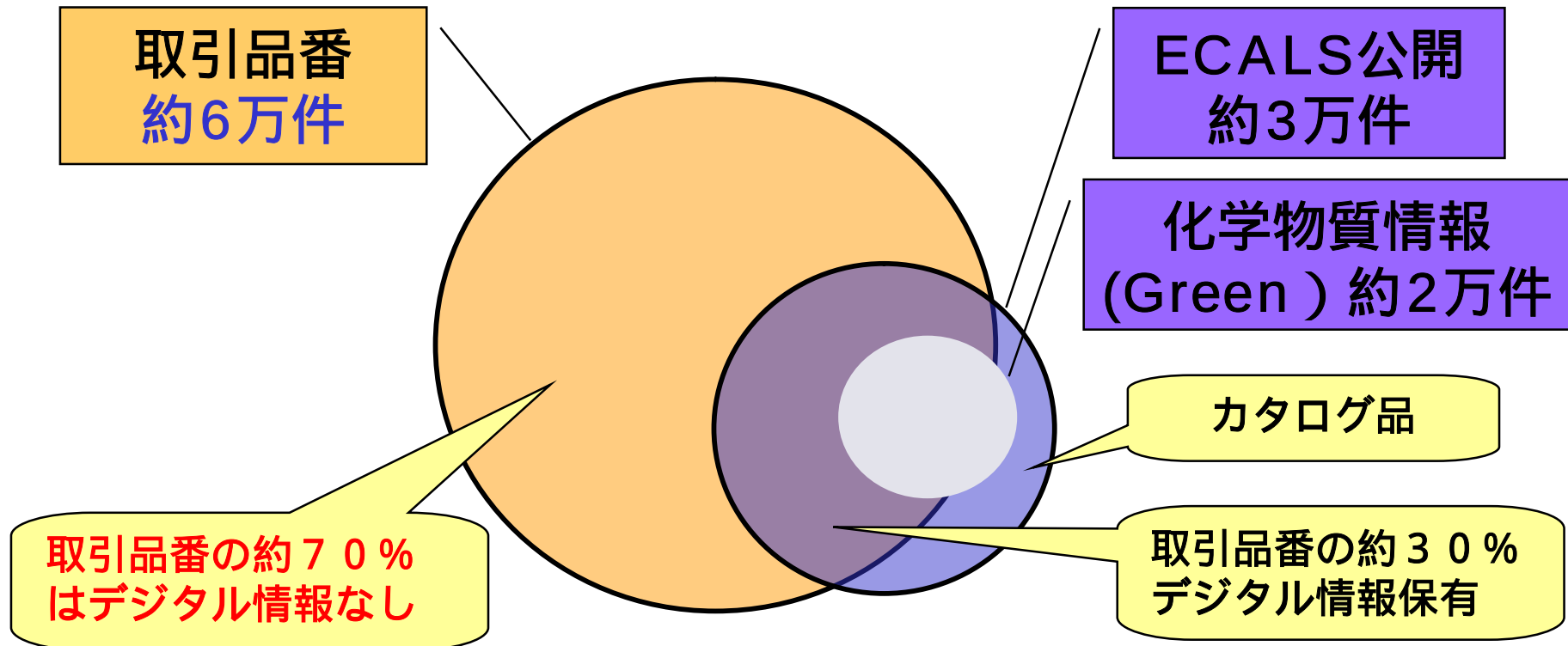


化学物質把握・管理の概要

muRata



ECALSデータ公開の現状



取引品番についてお客様からECALSデータの提供要請を受けた場合は都度ECALS様式でデジタル情報をハンド作成

部品情報管理標準化プロジェクト



< プロジェクトの目的 >

顧客からの技術引合に対する満足度向上

- ・ 納入仕様書発行リードタイムの短縮
- ・ 納入仕様書の電子データによる交換要求への対応
- ・ 製品仕様に関する問合せリードタイムの短縮

製品仕様管理に携わる業務改善、商品技術部門の仕事の標準化

- ・ 納入仕様書作成、発行業務
- ・ 製品仕様書の管理体系と改廃業務

技術情報デジタル交換の普及、業界標準、海外標準への対応基盤

< 取組み対象範囲 >

文書： 納入仕様書、承認図、製品仕様書

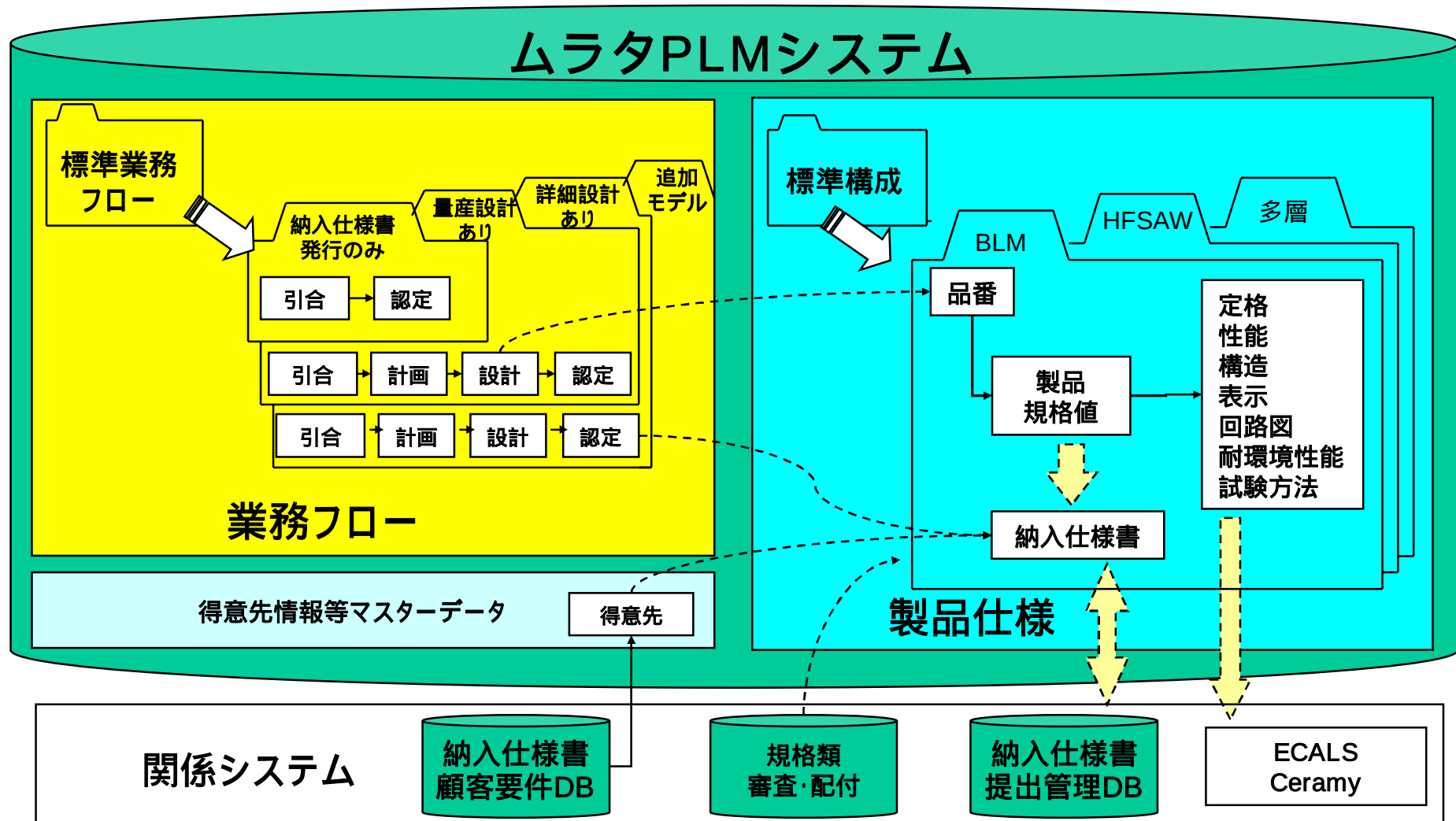
製品： 全製品

部門： 全商品部門（海外は除く）

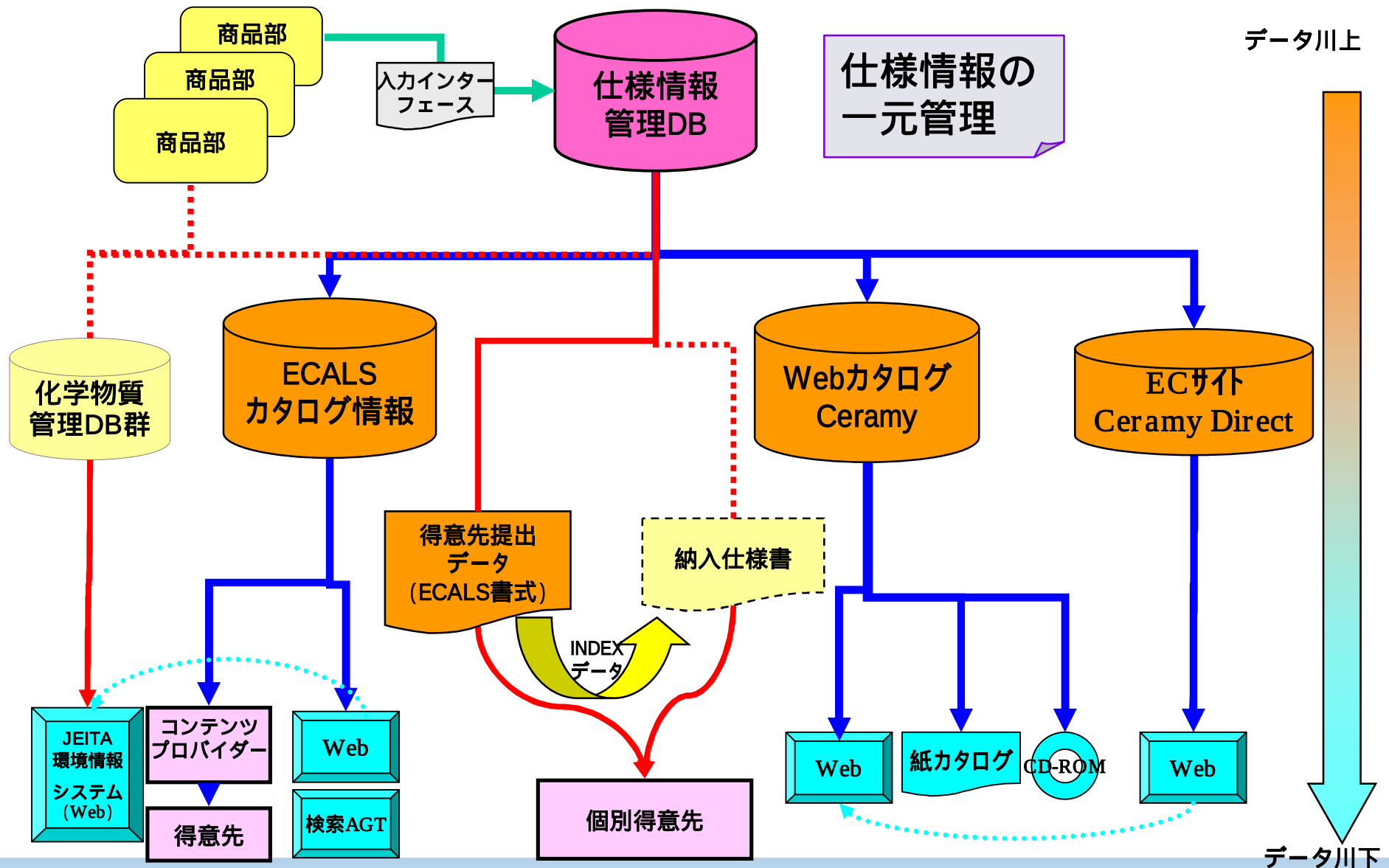
< 取組み期間 >

2002年4月から2006年3月（現在、適用商品を順次拡大中）

部品情報管理DBイメージ



部品デジタル情報公開の今後

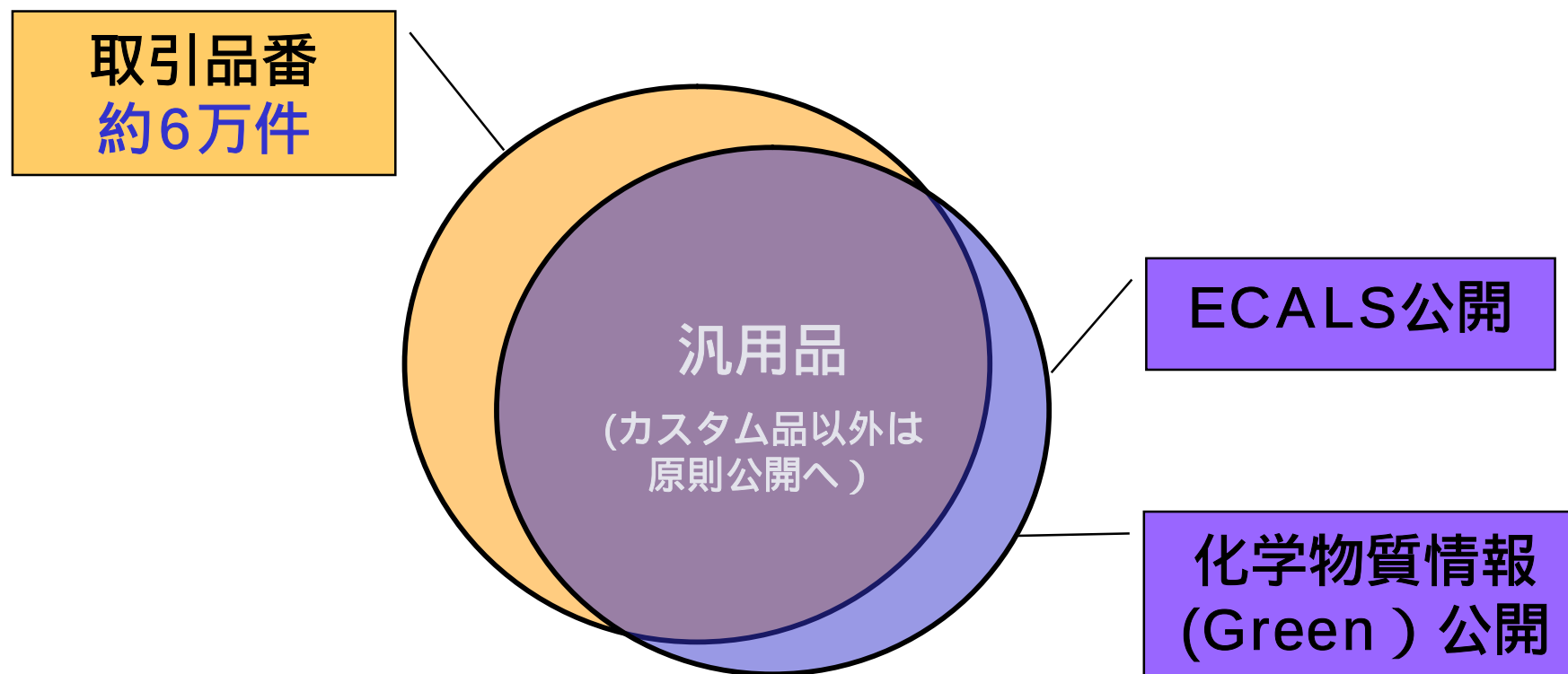


部品情報公開の今後の取組み



- JEITA標準基盤を活用して情報公開を拡大
 - ECALSによる部品情報公開の拡大
 - Greenによる化学負荷物質情報公開の拡大
 - CS本位！お客様が必要な時必要な情報を必要なだけ
- 化学物質情報の英語コンテンツを公開
 - 海外事業所でのご利用を支援
- 情報流通手段を多様化（より多くのお客様へ）
 - ECALSベースのコンテンツを配信会社から公開
- 国内外標準化活動を通じて情報流通を標準化
- 部品情報管理DBによるデジタル情報化率UP
 - 社内情報管理業務の効率化とデータの品質向上

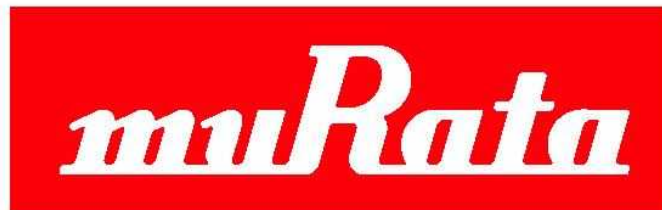
業界標準基盤による情報公開の拡大



- カタログ品の概念を拡大し非カタログ品の取引品番についても汎用品はECALSを通じて公開する
- ECALS公開品番全点について化学物質情報の添付を進める

ご静聴ありがとうございました。

Innovator in Electronics



村田製作所